

学年だより（うめぐみ）



《5月のねらい》身近な自然に触れ、友だちと思いを伝え合いながら
遊びを楽しむ

《5月のうた》 はじめのいっぽ



《4月の様子》

「うめぐみさんになれたよ！」と新しいクラスや机に喜びが溢れていた子どもたち。友だちと様々な遊びに挑戦したり、年少の子におもちゃやじゅんぱんを優しく譲ってあげる姿も見られるようになりました。アスレチックではたけのこが土から力強く芽を出し、春の訪れをみんなで感じていました。年長ならではの活動に期待でいっぱい様子です。これからも様々な行事や活動を通して、友だちの輪を広げていきたいと思います。

★美術～ウェットティッシュデカルコマニー～★

うめぐみ組、初めての美術は使い慣れているウェットティッシュでのデカルコマニー。白い画用紙に絵の具を染み込ませたウェットティッシュを思い思いの形で置いてみました。そして、その上からもう1枚画用紙を重ね挟んで広げると…両方に同じ模様が写ったことに「おお～！」と歓声が上がりました。それをじーっと見つめ、何に見えるか意見を出し合いました。「ちょうちょうになるかな？」と想像を膨らませ、触覚や羽の模様を描き足すうちに、ドレスや魚など色々なものに見立てながらイメージを広げ、のびのびと制作を楽しんでいました。1年間、様々な材料に触れ、自由な発想を大切にしながら取り組んでいきたいと思います。

★こいのぼり製作・かぶと作り★

「5月5日は？」の問い掛けに「こどもの日だよ！」と得意気に答えていました。クラスのこいのぼり作りでは、コーヒーフィルターを使ってにじみ絵に挑戦。マーカーで様々な線や点、カラフルに星やハートなど自由に描いていました。「どんな風になるのかな？」とワクワクした気持ちを膨らませ、そーっと水をつけた筆でなぞってみると、マーカーの色がじんわりと広がっていきました。色が混ざり合ったり、線や形が消える様子を見て「きれい！」「〇〇色になった！」とにじんでいくことや色の変化に夢中になっていた子どもたち。クラスカラーの大きなこいのぼりのウロコにし、1枚1枚大切に貼っていました。園庭で元気に泳ぐ姿を嬉しそうに見つめていたうめ組さんです。

本物の五月人形を見せてもらい、「強そう！」「かっこいいね！」と興味を持ち、英字新聞でかぶとを折ることを伝えると「え～！？」と驚きと期待でいっぱいです。「アメリカの新聞じゃない？」と友だちと会話を弾ませ、折り紙との違いを感じながら優しい力で折り、丁寧に組み組んでいました。

★科学～3、2、1…空気の大玉はっしゃ～★

憧れだった科学の時間。これから何が始まるのだろうとワクワクしていた子どもたちです。丸い穴の開いた箱を先生が大きく叩いてみると、丸い穴から煙で出来た輪が見え、「すごーい！」「ドーナツみたい！」と大興奮でした。自分たちで箱を組立て、穴の上に紙コップを置き、どうやったら高く飛ぶのか叩く強さや位置を変えてみるなど工夫して考える姿がありました。空気力でコップが高く飛ぶと「見て見て！」と嬉しそうに友だちと見せ合い、最後は紙に描かれた恐竜を立てて空気砲で倒しました。2チームに分かれての競争では、1人1人空気力で恐竜をどんどん倒したり、友だちを応援したりと楽しみながら空気力の大きさを学んでいました。